

# 危険を顧みず、親子で初期消火！

令和6年5月、偶然民家から煙が上がっているのを発見した森崎修さん・森崎獅絃君は、すぐに駆け付けると、民家の外壁の一部が燃えていたため、身の危険を顧みず、近くにあったバケツと水道ホースで初期消火を行うだけでなく、119番通報・避難誘導を行い、被害を最小限に止めました。

この勇気ある行動を讃え、令和6年6月17日に嶺北消防組合消防本部 米倉博人消防長より感謝状の贈呈を行いました。



(前列左より) 森崎修さん・森崎獅絃君

(後列左より) 米倉消防長・高島三国消防署長